

**ヒノキアスナロ**；ヒノキになれなかった木です。“明日はヒノキになろう”。この木の成群に阻まれるとサー大変、熱帯のジャングル同様自分の足が地面に届かない。カサカサと「カモシカマダニ」の移動する音が聞こえます。肌を出さないようにご用心。種でも増えますが何しろ雪が深いため、枝が倒されても生き延びる手段として選んだ方策は「副条根」という方法でした。この殻を集めて部屋に置くと心が穏やかになると思います。？

#### <ヒノキ科>



**ウリハダカエデ**：カエデの仲間には、ハウチハカエデ、ヤマモミジ、イタヤカエデ、コハウチハカエデ、ヒトツバカエデ、ミツデカエデ、ナンゴクミネカエデ、等の種類があります。名前の語尾に「カエデ」がついていますがたいていの人はモミジといえば、人の手の様な葉のイロハモミジをイメージするでしょう。その中でおよそかけ離れているのが“ヒトツバカエデ”です。読んで字の如く葉の数は一枚。ハート形の大人の手のひら程あります。ウリハダカエデの最大の特長は、木の肌にあります。そう！肌の色が緑色、そして、大小様々のダイヤモンドの形を散りばめています。この木を「ダイヤモンドツリー」と呼びましょう。

#### <カエデ科>

